

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	海岸公園の一部（冒険広場及びキャンプ場を含む。）
2	指定管理者	冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体
3	指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》平成30年度 119,650人 ※今年度7月より施設再開 ※有料施設(デイキャンプ場)利用数9,686人
		《事業》 冒険広場およびデイキャンプ場の通年管理業務
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 27,288千円 (ー千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (ー千円)
		《収入》 <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 576千円 (ー千円) ・ その他収入 0千円 (ー千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ① アンケートの実施状況と結果 平成31年2月～3月に来園者アンケートを実施。(アンケート結果は別添のとおり) ② その他の手法(利用者懇談会等)による評価の実施状況と結果 海岸公園冒険広場運営委員会を組織し、半年に1回、地域や地域施設、関連機関からの意見を聞くこととしている。(平成30年度は、平成31年1月25日の1回開催)

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	避難の丘を有し、震災の経験を伝承し防災教育の場となる施設として、設置目的を十分に理解し、管理運営を行っている。	24/24
II	施設の運営管理体制	施設運営において適切な人員配置を行っており、事故防止や利用者十分に配慮した連絡体制構築等を行っている。	24/24
III	施設・設備の維持管理	施設等について、十分に管理が行われており、園内についても環境への配慮を行いながら管理を行っている。	24/24
IV	サービスの質の向上	アンケート以外にもプレリーダーによる行動観察から利用者のプレイパークに求める遊び方を想像し、利用者の来園満足度を向上させる取り組みを積極的に行っている。	28/28
V	施設固有の基準	公園の適正管理と市民協働について、十分な取り組みを行っている。特に施設の特徴を生かした地域との連携に優れており評価できる。	4/4

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>東日本大震災で被災・休園して以来7年4か月ぶりに再開した海岸公園冒険広場の1年目となった平成30年度、まだまだ沿岸部に足を運ぶのに抵抗があるという人も多くなか、来園者は大きく減るのではないかと予想もあったが、さまざまな自主事業も奏功し、震災前並みに多くの来園者を迎えることができた。</p> <p>多くの支持を得られたのは、季節や天気にも合わせ、この場所の持つ自然の魅力を最大限活かしながら様々な素材を用意して、来園者自らが公園を楽しむきっかけづくりを続けてきたこと、「こんなことやってみたい」という思いを受け止めサポートを続けてきたことの成果である。また、自主事業について、園内で実施するものに留めず、周辺部で広く展開していることも奏功していると考えている。</p> <p>また、再開にあたっては、震災前から求められていた「自然と親しむ場」「自由に遊びを創造できる場」といった役割に加え、「海岸公園全体の魅力向上や賑わい・交流の創出」「震災を伝え防災に資する役割」等が加わったが、前者については、冒険広場で周辺の情報を積極的に伝えていくこと他、先述の周辺部での自主事業や、「ふるさとの杜再生プロジェクト」と連携しての植樹の積極的受入れも、沿岸部に人の流れを生む効果を発揮している。震災伝承・防災についても、休園期間中から続けてきた痕跡保存の取組みも活かしながら震災を伝えていく活動や、避難の丘の防災あずまやの設営訓練・模擬展示などを行ない、1年目から役割を果たした。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>東日本大震災の津波による被災後、約7年ぶりの再開となり、周囲の環境が大きく変化中、園内を十分に管理している。冒険あそび場について、「子供達が自由闊達に創意工夫しながら自分達の遊びをできるような企画運営管理行う」という施設の基本的な考え方に沿ったリスクマネジメントを行っており、非常時の連絡体制も含め、利用者のニーズに応えられる対応をしていて評価を得ている。様々な事業者と協働した自主事業を開催するなど、地域の賑わいと交流促進を積極的に行っており、周辺への情報発信についても十分に行っている。また、避難の丘の頂上にある防災あずまやの設営訓練と模擬展示も3.11や防災の日等に合わせて行い、施設の特徴を生かし、来園者へ震災の経験を伝えるなどの防災意識の啓発に繋がるイベントや施設案内への取組みも評価できる。</p>	<p>S</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課